

リサイクルの  
洋服・着物・家具  
の安価販売！

リサイクル  
リサイクル啓発の「まつやまRe・再来館」月刊紙

りっくるだより No. 228 (2021年9月号)

お手頃価格の  
着物リメイク製品・手すき  
葉書・ふすま張替



## 廃材で作るハロウィン置物

日時：9月19日(日) 10:00~14:30

内容：廃材でハロウィンの置物づくり

対象：大人(電動系のご経験者)

人数：5人

参加費：600円

持参品：汚れてもいい服装

ゴミ入れ・タオル・持ち帰り用袋

飲み物・昼食・あれば筆

締切：9/8(水)必着



### 申し込み方法

来館、はがき、FAX(974-4024)、メール(rikuru@cnc.e-catv.ne.jp)で申込み  
住所・氏名(フリガナ)・電話番号・イベント名を記入の上、

〒790-0054 松山市空港通 1-1-32

まつやま Re・再来館 「廃材で作るハロウィン置物」係 まで



### 【 本当のプラスチック・リサイクルへ 】

今年6月の通常国会で、「プラスチック資源循環促進法」という新たな法律が成立しました。既にプラスチックはリサイクル資源として回収されているのに、今さらなぜと思われるいませんか？ 実は、ペットボトルや食品トレイ、一部のプラマークがついた容器包装を除いたプラスチックは、プラスチック製品に戻ることなく、現在はただ燃やされているのです！ 製鉄所や石炭火力発電所において、プラごみが補助燃料として使用され、石炭燃料の削減に役立ってはいるので、これをサーマル・リサイクル(熱回収)と呼んでいます。

しかし、熱エネルギーのためにプラスチックを燃やすのでは、二酸化炭素の削減にはなりません。製品の素材として使うケミカル・リサイクルが世界の潮流となってきました。日本では年間約900万トンのプラごみが排出されており、人口1人あたりに換算すると約32キロで米国に次ぐ世界第2位の排出大国です。こうした中、日本は2019年に「プラスチック資源循環戦略」を策定し、30年までに使い捨てプラスチックを25%排出削減し、35年までには100%有効利用する目標を掲げています。

今回の法律では、市町村を通じて国民から全てのプラごみをプラスチック資源として回収することを努力義務とし、メーカーや小売店に対してもプラスチックのスプーンやストローを有料化したり、自主回収で再生したり、代替え素材に転換をすることを求めています。(高岸)

## 修理工房

9月4日(土)10~12時

### <持込可能な家具の修理><網戸張替>

※ 申込方法・締切(8/25)・結果連絡方法は講座と同じ。事前申込が必要！

※ 家具実費/網戸張替実費(400円程度/網・ゴム持参は100円)

※ 講座・イベント等、申し込まれた方への結果連絡は、受講(参加)できる方のみとなっております。

※ りっくるだよりのバックナンバーは、HPで5ヵ月前まで閲覧できます。

※ facebookで日々のできごとを掲載しています！

ホームページ <https://rikuru.jp> (アドレス変更しました) からログイン！